

■火災が起きたら初期消火

消火器の場所を確認



自宅近くの消火器の場所を、3カ所以上、確認しておきましょう。

■負傷者を見つけたら救出・救護

AEDの場所を確認



全国AEDマップ



設置場所等の詳細はこちらをご覧ください

心臓に電気ショックを与え、正常な心拍機能を回復させます。

■声を掛け合って避難

自宅が危険なら避難拠点へ

避難ルートの危険な場所をチェック

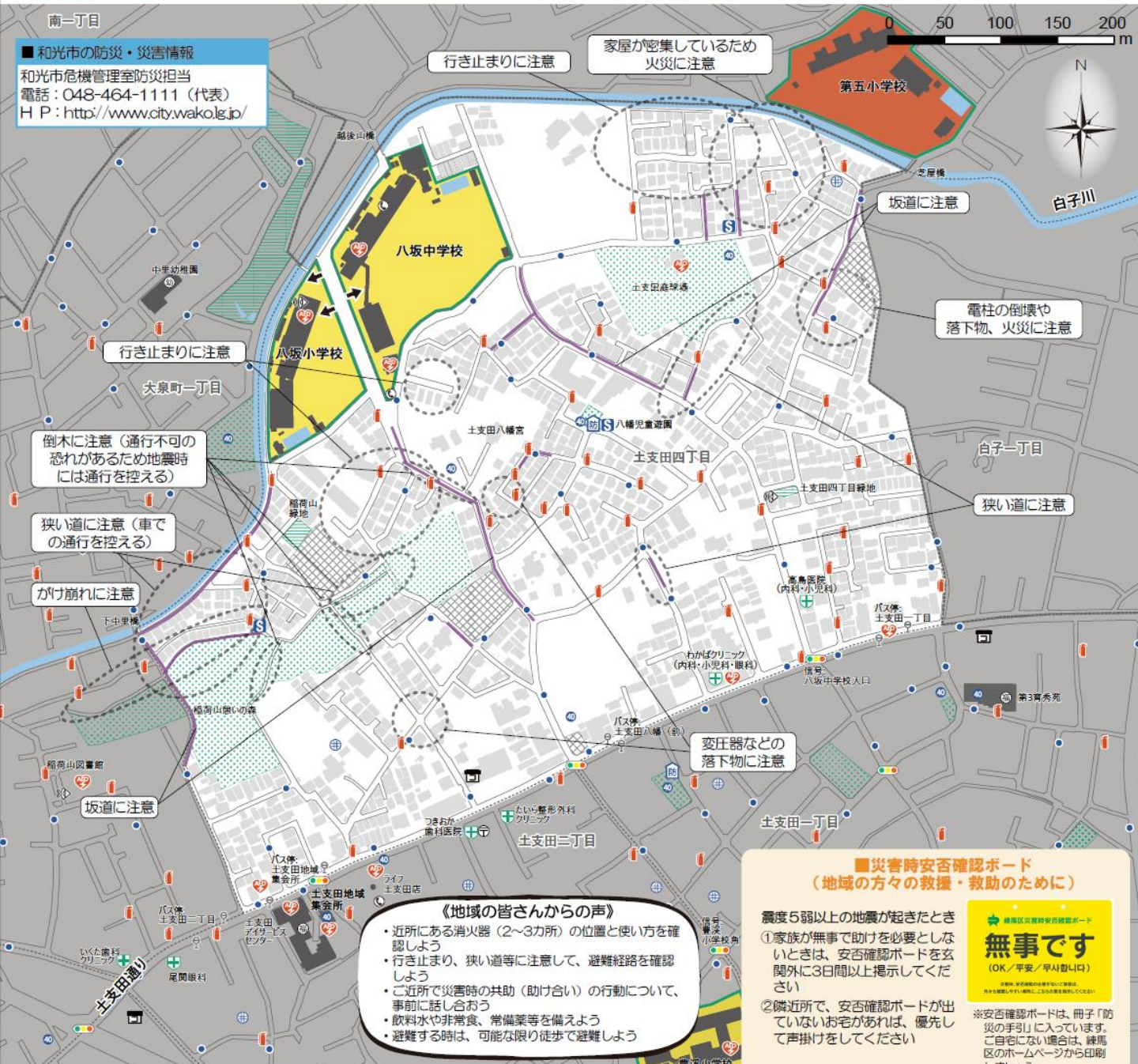


区内で震度5弱以上の地震を観測した際に開設します。

落下しそうなものが多い道やブロック塀がある道に注意しましょう。

■和光市の防災・災害情報

和光市危機管理室防災担当
電話：048-464-1111 (代表)
HP：http://www.city.wakole.jp/



《地域の皆さんからの声》

- ・近所にある消火器 (2~3カ所) の位置と使用方法を確認しよう
- ・行き止まり、狭い道等々に注意して、避難経路を確認しよう
- ・ご近所で災害時の共助 (助け合い) の行動について、事前に話し合おう
- ・飲料水や非常食、常備薬等を備えよう
- ・避難する時は、可能な限り徒歩で避難しよう

■災害時安否確認ボード (地域の方々の救援・救助のために)

震度5弱以上の地震が起きたとき
①家族が無事で助けを必要としないときは、安否確認ボードを玄関外に3日間以上掲示してください
②隣近所で、安否確認ボードが出ていないお宅があれば、優先して声掛けをしてください



※安否確認ボードは、冊子「防災の手引」に入っています。ご自宅にない場合は、練馬区のホームページから印刷しましょう。

- #### 各種施設、資源等
- 保育園
 - 幼稚園
 - 福祉施設等
 - 公衆電話
 - コンビニエンスストア
 - 郵便局
 - 信号
 - バス停
 - オープンスペース、広い駐車場等 (落下物のおそれのない場所)

- #### もしものときの避難する場所等
- 必ず確認してほしい場所**
 - 避難拠点
 - 近隣自治体避難場所
 - 地震発生時に注意が必要な道 (落下しそうなものが多い道やブロック塀がある道)
 - 家族等との待ち合わせ場所**
 - 避難拠点入口
 - 公園・児童遊園
 - 緑地等
 - 診療所、病院 (主な診療科を記載)

- #### 災害時に役立つ情報、資源
- 必ず確認してほしい場所**
 - 消火器
 - AED (事前に使える時間帯を確認しておきましょう)
 - 防災会防災資器材格納庫
 - ミニ防災井戸 (生活用水)
 - 地下貯水槽 (5 t)
 - 消火用貯水槽 (40 t 以上)
 - 消火栓
 - スタンドパイプ
 - 防災無線 (放送塔)

防災会防災資器材格納庫には、救出救護や初期消火のための資器材が入っています。防災会防災資器材格納庫の鍵およびスタンドパイプは防災会長が保管しています。

(例) 担架・レスキューカー } 救出・救護
 ■パール・ハンマー } 初期消火
 ■軽可搬ポンプ }
 ■スタンドパイプ }
 貯水槽や消火栓は、初期消火を行う際の水源になります。



①情報収集



最新の気象情報を区のホームページやねりま情報メールで確認しましょう。(上記のQRコードから確認できます)

②避難の判断と準備



浸水に備え、土のう・水のう・止水板の準備や、強風に備え、雨戸・シャッターを閉めるなどの対策をしましょう。

③近隣への避難の呼びかけ



避難の呼びかけやお年寄りの避難支援など、近所の皆さんで助け合いをしましょう。

④早めの避難



自分と家族の身の安全を十分に確保しながら、貴重品や食料、毛布等を持参し、家の周りが浸水する前に早めに避難しましょう。

■白子川沿いの地域

白子川は、短時間の豪雨で急に水位が上がリ、氾濫することがあります。右のQRコードから水位計を見ることが出来ます。白子川のライブカメラの映像を右のQRコードから見ることが出来ます。川の氾濫より前に、降った雨が排水しきれずに冠水することもあります。



マイ・タイムラインを使って、早めに避難を！避難が遅れたら、安全な建物の2階以上へ！

避難のタイミングを決めて「マイ・タイムライン」に家族の行動をまとめておきましょう。マイ・タイムラインシートは「防災の手引」に付属しています。



台風時には倒木に注意(通行不可の恐れがあるため大雨時には通行を控える)

最大浸水深 4.70m

がけ崩れに注意

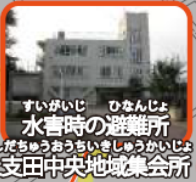
急な坂のため大雨時、道路上を流れる水に注意

土砂災害警戒区域 ()
土砂災害が発生した場合に、生命や身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域 ()
上記区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、生命や身体に著しい危害が生ずる恐れがあると認められる区域

すいがい ひなんじょ 水害時の避難所
どしだちゅうちゅういきしゅうがいに
土支田中央地域集会所 B

すいがい ひなんじょ 水害時の避難所
どしだちゅうちゅういきしゅうがいに
土支田地域集会所 A



《地域の皆さんからの声》

- ・浸水想定区域に注意して、標高が高く浸水のリスクが低い避難経路を確認しよう
- ・避難方向に向かって上り坂になるので、通りやすい避難経路を確認しよう
- ・側溝を定期的に掃除して、水害時に水があふれないようにしよう
- ・ご近所で災害時の共助(助け合い)の行動について、事前に話し合おう
- ・避難所が地区外にあり遠いため、早めの避難を心掛けよう
- ・雨具や動きやすい靴(長靴は不可)等、避難に必要な道具を備えよう
- ・避難する時は、可能な限り徒歩で避難しよう

防災無線自動音声応答サービス

防災無線から放送された内容を、電話で確認することができる「防災無線自動音声応答サービス」を行っています。24時間以内の放送内容が確認できます。電話：0120-707-111(通話無料)

※また、防災無線の放送内容を文字化して、「ねりま情報メール」で自動配信するとともに、区のホームページでも確認できます。

もしものときの避難する場所等

避難所
※降雨状況や地域の危険性に応じ(A)→(B)→(C)の順に避難所を開設します。避難の際は、必ず避難所の開設状況を区ホームページ等で確認ください。

避難所入口

避難所 (危険がさらに高まった場合)
※河川の氾濫・浸水深の危険性がさらに高まった場合は、()の避難所の他にも区立小中学校を避難所として開設することがあります。

災害時に役立つ資源

- 防災会防災資器材格納庫
- AED (事前に使える時間帯を確認しておきましょう)

準備・避難時に必要な情報

- 水位計
- 防災無線(放送塔)
- 水がたまりやすい箇所

各種施設、資源等

- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- 公園・児童遊園
- 緑地等
- 信号
- バス停

浸水深の目安

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m 未満
- 2.0m~3.0m 未満
- 1.0m~2.0m 未満
- 0.5m~1.0m 未満
- 0.1m~0.5m 未満

